

# メキシコ&キューバ 世界遺産めぐり 10日間

メキシコの古代遺跡とパステルカラーの街 ラテンミュージック カリブ海のビーチ

●旅行期間 2020年 11月28日(土)~12月7日(月)

●旅行代金 (お一人様/ホテル/2名1室利用)

羽田発 608,000円 大阪・福岡発 638,000円

●別途、国際観光旅客税(1000円)、成田空港施設使用料(2660円)、  
現地空港税(目安 2770円 2019/12/1現在) ツーリストカード(6000円)

- 歩行クラス 観光
- 個室使用追加料金 75,000円
- 食事 朝7食 昼5食、夕7食
- 添乗員 成田集合・解散にて長谷谷が同行予定
- 利用ホテル (全都市シャワーのみの場合あり)
- 最少催行人員 8名(定員14名)
- 利用航空会社 エアロメヒコ

パステルカラーの街並みのトリニダ(2019年のツアーで撮影)

①	各地 → 成田(14:25発) → メキシコシティ(13:05着) 市内観光 ホテル(20:30着) 午後 世界遺産のメキシコシティの歴史地区などを観光。 ◇独立記念塔、レフォルマ通り、ソカロ広場、カテドラル、国立宮殿 <b>メキシコシティ泊</b> 朝 機 夕
②	(09:00発)ホテル 世界遺産 テオティワカン ホテル(21:00着) 終日、紀元前2世紀に造られたこの国最古の古代遺跡で謎に包まれたテオティワカン観光 夜 ◎マリアッチの生演奏を聴きながらのディナー <b>メキシコシティ泊</b> 朝 機 夕
③	(06:30発)ホテル メキシコシティ(10:20着) → ハバナ(14:04着) 市内観光 午後 ◎ハバナ旧市街とその要塞群として世界遺産に指定されたアルマス広場観光。 ◎カピトリオ(旧国会議事堂)、海賊の襲来を退けたモロ要塞 ◎文豪・ヘミングウェイが通った有名なフロリディータで夕食 <b>ハバナ泊</b> 朝 機 夕
④	(08:00発)ホテル 世界遺産 シエンフェーゴス 午前 ◇建国の父である革命家ホセ・マルティから名付けられたホセ・マルティ広場へ シエンフェーゴス 世界遺産 トリニダ ホテル(21:30着) 午後 ◇サンテシマ広場から続く石畳はパステルカラーのキューバらしい街並みです ◎残酷な奴隷の歴史を伝える市立歴史博物館(カンテロ博物館)入場 ◎蜂蜜とレモン、水、ラム酒を加えたカクテルで名物バーのラ・カンチャンチャラへ 軽快なキューバ音楽とともに楽しみましょう。 <b>トリニダ泊</b> 朝 機 夕
⑤	(08:00発)ホテル 世界遺産 ロスインヘニオス(渓谷) 午前 ◇インヘニオス渓谷の展望台からはサウキビの製糖工場跡と谷を展望 ◎マナカイナガ邸は大富豪の邸宅を今に残します。 ロスインヘニオス サンタクララ 蒸気機関車体験 バラデロ・ホテル(18:30着) 午後 ◎奴隷解放革命の英雄チェ・ゲバラゆかりの街サンタクララ。6mのチェ・ゲバラの 銅像が立つ革命広場と、チェ・ゲバラ霊陵を訪れます。 ◎サウキビの運搬に活躍した蒸気機関車に体験乗車します。 ◎食事、お酒を含む飲み物もお好きにだけ楽しめるビーチリゾートホテルに宿泊。 <b>バラデロ泊</b> 朝 機 夕
⑥	午前 ビーチリゾートホテルの美しいビーチとプールでゆっくりお過ごしください。 (14:00発)ホテル ハバナ・ホテル トロピカーナショー ホテル(23:30発) 夜 ◎夕食後のトロピカーナショーでキューバの踊りと音楽を楽しみます。 シャンパンや7年物のラム酒、コーラ、おつまみも付いています。 (短パン、ゴム草履、男性のノースリーブでの入場は禁止です)。 <b>ハバナ泊</b> 朝 機 夕
⑦	(09:00発)ホテル 世界遺産 ハバナ観光 ホテル(17:00発) 終日 ◎ヘミングウェイがノーベル文学賞の「老人と海」を書き上げたコヒマル村へ ヘミングウェイの自宅を残した博物館などを訪れます。 ◎ラム酒製造の歴史を展示するクラブ蒸留博物館(試飲可) ◎オープンカーのクラシックカーで市内ドライブを楽しみます。 <b>ハバナ泊</b> 朝 機 夕
⑧	(12:00発)ホテル ハバナ(15:05発) 機中泊 朝 機 夕
⑨	→ メキシコシティ 日付変更線通過 朝 機 夕
⑩	→ 成田(06:20着) 各地 機 夕

(注釈 観光… ◎ 入場… ◇ 下車 △ 車窓 移動… → 飛行機 入 食事… 付 □ なし)

- ①キューバ西部の4つの世界遺産を観光します**  
キューバ建国の父であるホセ・マルティの街・シエンフェーゴス、過酷な奴隷の歴史を物語るトリニダ、この国の歴史を語る際に欠かせないサウキビ産業の集落・ロスインヘニオス、そして首都・ハバナという世界遺産4か所を訪れます。
- ②革命の英雄・チェ・ゲバラ(キューバ)**  
アルゼンチンの裕福な家の出身で医者でありながら、貧富の差にあえぐキューバの庶民のために革命を起こしたチェ・ゲバラ。彼の最期はボリビアの庶民のための戦いでした。常に貧しい人の見かたであったチェ・ゲバラの霊陵などを訪れます。
- ③トロピカーナショーの音楽、お酒、葉巻(キューバ)**  
街を歩けば聞こえてくる、そしてレストランに入れば演奏されるキューバミュージック。特に今回はダンスと音楽で有名なトロピカーナショーにもご案内します。キューバと言えばダイキリやモヒートなどラムベースのお酒。キューバシンガーとして世界的に有名な葉巻。いまでは世界中に広がるキューバ文化・習慣をオリジナルの地で楽しめます。
- ④パステルカラーの街並み(キューバ)**  
キューバの写真で必ず登場する美しいパステルカラーの街並み。今回はこれらキューバらしいアメリカのクラシックカーのオープンカーも乗って楽しめます。
- ⑤ヘミングウェイの世界(キューバ)**  
ハバナ郊外のコヒマル村にはノーベル賞作家のヘミングウェイが愛した風景、自宅、船がそのままの姿で残り、足繁く通った海辺のレストランが今もお客さんをお迎えています。アメリカ人だった彼がこの国を愛し、人生の長い時間をこの地で過ごした理由が良くわかる、落ち着いたキューバの田舎らしい村を訪れます。
- ⑥オールインクリースイブのリゾートホテル(キューバ)**  
キューバで最も人気のあるビーチリゾートのバラデロでは食事もお酒も好きな時に好きなだけお楽しみ頂けるオールインクリースイブの高級ホテルに滞在。欧米人に大人気の設備の行き届いたお部屋や美しいビーチ、プールでの半日をのんびりお過ごしください。
- ⑦メキシコで2か所の世界遺産も観光**  
メキシコシティにも連泊して滞在し、市内観光と有名なテオティワカン遺跡も観光し、夜はメキシカンミュージックも楽しめます。

## 世界遺産 ハバナ CUBA

キューバの首都・ハバナ。スペインコロニアルの情緒を残す旧市街と、ヤシ並木と高層ビルの新市街から成る大都市です。ハバナは実は英語読みでスペイン語ではラ・アバーナと呼びます。見どころはラ・アバーナ・ビエハ地区と旧市街で19世紀やそれ以前の黄金時代に財力をつぎ込んで作られた見事な建築物が並び街中が博物館と言えるほどのです。1982年にハバナとその要塞群として世界遺産に指定されました。コロニアルな街中を1940~1950年代のアメリカのクラシックカーが走る風景こそがキューバであり、ヘミングウェイの小説に出てくる海と人と酒のシーンを垣間見えるような街角もハバナ、そしてキューバの魅力です。オープンクラシックカー乗車をお楽しみください。



7年物のラム(蒸留博物館)



クラシックオープンカー

## キューバの夜 トロピカーナ CUBA

1939年開店の老舗キャバレー「トロピカーナ」。キューバ国内に数あるキャバレーでも最大規模の「トロピカーナ」の総座席数は1000席！煌びやかなショーと野外ステージであることから「星降る舞台」とも呼ばれています。また、ダンスショーもキューバンサルサをはじめ、様々なジャンルの音楽と共に華麗に着飾ったプロのダンサーによって演出されます。キューバの夜のエンターテインメントを舞台前方の特別席でお楽しみください。7年物のラム酒も4名様に1本提供されます。



## 革命家 チェゲバラ CUBA

スペインの探検家・コロンブスによって開かれたキューバ最初の西洋人による街で奴隷制度の中心地だったサンタ・クララは奴隷解放活動で活躍したチェ・ゲバラにより解放された街としてキューバの歴史では重要な街です。革命広場には6mという大きなチェ・ゲバラの銅像が立ち、その前のチェ・ゲバラ霊廟にゲバラの遺骨がカストロにより納骨されたのは39歳という若さでボリビアで処刑された後30年の月日が流れた1997年10月17日でした。霊廟にはゲバラとともに戦った38人の慰霊を込めて38の石も納められています。銅像の台座には彼の名言「Hasta la Victoria Siempre(常に勝利に向けて)」と刻まれています。彼が仲間と作戦を練ったカピエロの丘は車窓からご覧いただけます。



霊廟に立つ、左手を負傷したチェゲバラ像



共産党会館の前の像

## たまにはのんびり バラデロ滞在 CUBA

大西洋に角のように伸びたヒカコス半島。ここが革命まではアメリカ人の富豪たちが競うように別荘を立てた高級ビーチリゾートのバラデロです。革命後、アメリカ人たちはアメリカ・マイアミに戻り、残された豪邸と28kmに及ぶ美しいビーチは国有化され、現在のリゾートの基となりました。3食付で24時間飲み放題のビーチリゾートに宿泊して目のビーチで日光浴やマリンスポーツを楽しむのがバラデロスタイルです。この機会に是非欧米スタイルの何もしない時間をお楽しみください。ホテルの前のビーチや綺麗なプールで泳がれる方は水着を各自ご準備ください(タオルは借りることができます)。



バラデロのホテルのプール



バラデロのホテルのビーチ

## 文豪 ヘミングウェイ CUBA

ヘミングウェイがこよなく愛しノーベル文学賞の「老人と海」を書き上げたコヒマル村はもちろんその舞台でもあります。「誰がために鐘は鳴る」の売り上げで手に入れた邸宅フィンカ・ビヒアはヘミングウェイが住んだ家。内部は当時のままの状態に残され、8000冊の蔵書、立ったまま打つたと言われるタイプライター、さらに外には魚釣りが趣味だった彼の愛艇ピラール号、愛犬たちのお墓もあります。ハバナ市内のカフェ・フロリディータのカウンターには彼の像が時が戻ったように今日も立って、賑わうカフェを見つめています。



フロリディータのカウンターに立つ



博物館としてそのまま残されている自宅

## メキシコシティの世界遺産 MEXICO

メキシコの首都メキシコシティはアステカ帝国とスペイン植民地時代の旧跡が残る一方、現代に置いては中南米の中心地として栄える顔を持つ人口約885万人の大都市です。セントロと呼ばれる歴史地区はユネスコ世界遺産に登録されています。スペイン軍制服後に造られたコロニアルな街並みと、近代位的な建物の何とも言えないコントラストがこの街の魅了です。郊外に足を延ばして訪れるのが、巨大ピラミッドが並ぶ世界遺産「テオティワカン遺跡」。太陽と月のピラミッド、死者の道など今も多くの謎に包まれた紀元前2世紀に造られた古代遺跡です。



テオティワカンのピラミッド



セントロ・カテドラル